

行政 I



県産品流通支援課
森田 千陽

異動歴
H31年 採用 飛騨県税事務所
R3年 現所属

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

県産品の商品開発や販路開拓の支援に取り組んでいます。私は海外展開係として、海外 EC サイトでの県産品販売や、海外デザイナーとの連携による新商品開発などの事業を通して、県産品の海外展開を目指す企業の支援を行っています。

Q2 岐阜県庁を志望した動機を教えてください。

学生時代、就職先を考えるために企業の情報収集をした際、岐阜県には魅力ある企業がたくさんあることを知りました。こうした魅力ある県内企業を、行政として様々な観点から支援し、岐阜県の経済発展につながる仕事がしたいと考え、岐阜県職員を志望しました。

Q3 岐阜県職員として働く魅力を教えてください。

行政職は様々な所属への異動があり、幅広い分野の業務に携わるため、多くの経験や知識を得ることができ、人脈も広がります。また、県民と接したり、県内各地へ出張に行ったりする中で、岐阜県の新たな魅力を発見する

ある日のスケジュール

| | | | | | | |
|------------------|-----------------|----------------------|-------|----------------|-------------------|-------|
| 8:30 | 9:00 | 10:00 | 12:00 | 13:00 | 15:00 | 17:15 |
| 登庁 メール、新聞記事確認 | 県産品に関する 情報収集 | 海外ECサイト事業に 関する打合せ | 昼休み | 新規事業の 仕様書作成 | 海外バイヤー招請の 日程調整 | 退庁 |

ことも多く、生まれ育った岐阜県がさらに好きになりました。

Q4 一番印象に残っている仕事を教えてください。

現所属で海外出張に行ったことです。バイヤーに紹介した県産品の数々が、現地ショップにおいて実際に展示販売されているのを見て、大変感動したと同時に、県産品の魅力をさらに海外に伝えていきたいと感じました。

Q5 働く環境についてはどう思われますか。

職場全体が、組織で対応するという意識をもっているため、わからないことや判断に迷うことがあったときは、上司や同僚に気軽に相談でき、安心して仕事を進めることができる環境だと感じています。また、休みを取得しやすい職場なので、プライベートも充実させることができます。

行政 II



競技スポーツ課
奥村 亮太

異動歴
R2年 採用 リニア推進事務所
R4年 現所属

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

岐阜県出身や岐阜県内で活躍しているオリンピック選手、パラリンピック選手そして将来の活躍が期待される選手の活動をサポートしています。その一つとして、選手とコミュニケーションをとり、課題や困っていることなどを聞き、選手がよりスキルアップしやすい環境づくりをしています。また、競技パラスポーツ係では選手や指導者、関係者向けの研修等も行っていきます。

Q2 入庁前と入庁後のギャップはありましたか。

行政職は様々な所属に配属されることが一番驚きました。様々な所属へ配属されることで、新しく学ぶことや今まで知ることなかった分野に触れることができます。一緒に働く人も同じようでも違う仕事をしているため、若手のうちから自分の仕事は自分が一番先頭に立つて考えることができ、力をつけていくことができます。

Q3 前職での経験がどのように活かされていますか。

前職はお客様の接客をする営業職でしたので、その経験が活

ある日のスケジュール

| | | | | | | |
|----------|-----------------|---------------------------|-------|-----------------------|---------------------|-------|
| 8:30 | 9:00 | 10:00 | 12:00 | 13:00 | 16:00 | 17:15 |
| 登庁・メール確認 | 事業進捗状況の 係内共有 | 関係者との情報共有、 イベントに関する打合せ | 昼休み | 選手との面談、 練習視察のための出張 | 選手面談内容の 課内共有資料作成 | 退庁 |

かされています。現職も人とのつながりが重要です。そのため、様々な方とコミュニケーションを取る際には、自分の価値観や思い込みで聞くことなく、相手の気持ちに寄り添うことを大切にしています。また、相手に思いを話す際には、ただ伝えるのではなく、伝わる話し方を心がけています。

Q4 岐阜県職員として働く魅力を教えてください。

多くの分野に触れるられるので、様々な人と関わることができます。自分の経験として力をつけることができるだけでなく、多くのことを知るため視野が広がります。もちろんそれが大変だと思うこともありますが、チームで仕事をするので、一緒に働く職員と協力し、目標に向かって取り組むことは楽しいです。

Q5 働く環境についてはどう思われますか。

福利厚生が整っているので、通常のお休みだけではなく、育児参加休暇や生活スタイルに合わせて勤務時間を調整することができます。繁忙期は残業をすることもありますが、同僚や上司が声をかけてサポートしてくれるので、大変な業務も一緒に乗り越えることができる環境だと思います。

事務 (社会人枠)



東濃県税事務所
天野 隆昭

異動歴
R2年 採用 企業誘致課
R4年 現所属

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

個人の方が営む事業に対して課される個人事業税に関する業務を主にしています。県民の皆様は納めていただく県税は、県政を展開していくための貴重な財源であり、正確な業務を心掛けています。

Q2 入庁前と入庁後のギャップはありましたか。

業務の発注や物品の購入はすべて公金の支出ですから、より慎重に行う必要があり、たとえ安価な物品の購入であっても、担当者だけで決定することはありません。前職では、ある程度自分の判断で業務を進めていましたが、県の業務は全て複数の職員の審査を経て、最終的な意思決定を行うことに最初は戸惑いを感じました。

Q3 前職での経験がどのように活かされていますか。

自動車製造工場の設備メンテナンス営業兼工事現場監督、その後は出版社での営業職を経て、岐阜県職員に採用されました。営業職から事務職へ職種転換したこともあり、ノウハウが直接的に活かされることはありませんが、顧

ある日のスケジュール

| | | | | | | | |
|----------|---------------|-------|------------------|------------------|--------------|-----------------|-------|
| 8:30 | 9:00 | 12:00 | 13:00 | 14:00 | 15:00 | 16:00 | 17:15 |
| 登庁・メール確認 | 税務署での 課税調査 | 昼休み | 個人事業税の 課税判定業務 | 課税者情報の システム入力 | 狩猟税の 賦課業務 | 県民税利子割の 賦課業務 | 退庁 |

客に喜んでいただき利益を得ることや、様々なトラブル対処の経験は自身の土台となっており、日々の業務で発揮されていると思います。

Q4 岐阜県職員として働く魅力を教えてください。

県職員の業務は多種にわたり、定期的な異動で県民の生活に関わる様々な業務に携わるため、幅広い仕事をする中で知見も増え、自己成長を感じとれます。また、県職員の業務は公共に関わるものとなるため社会貢献につながり、やりがいを感じます。

Q5 困難な事例があったときにどうやって解決されましたか。

ある程度解決への道筋を考えた上で、上司や周りに相談し、情報共有し、解決に向け進めています。同時に相談しやすい環境と、自身のメンタルケアも必要であり、共に大切にしています。

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

子ども相談センター（児童相談所）の家庭支援課で、児童福祉司として相談援助業務に携わっています。子どもに関する相談や通告を受け、調査を行い、解決に向け関係機関と連携して支援を行っています。

Q2 岐阜県庁を志望した動機を教えてください。

大学で福祉（児童、高齢者、障害等）を学んでおり、将来は福祉に携わる仕事をしたいと考えていました。福祉について様々な事を学ぶ中で、子どもの福祉について高い関心を持ちました。子どもや保護者と直接関わりを持ちながら相談・援助を行いたいと思い、岐阜県庁の福祉職を志望しました。

Q3 岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

県民の方々と直接関わり、寄り添いながら支援させていただけることが一番の魅力だと思います。児童福祉に関わる知識を身につけ、専門性の高い支援を行うことができます。今よりもさらに見識を深め、ケースごとに最適

ある日のスケジュール

| | | | | | | | | | |
|----------|------------------|---------------|-------|-------------|--------------|-------------|---------|-------|-------|
| 8:30 | 9:30 | 10:00 | 12:00 | 13:00 | 15:00 | 16:00 | 16:30 | 17:00 | 17:15 |
| 登庁・メール確認 | 市役所で家庭支援についての打合せ | 市役所で保護者、児童と面接 | 昼休み | 対応状況を職場内で共有 | 所内で保護者、児童と面接 | 対応状況を職場内で共有 | 面接記録の作成 | メール確認 | 退庁 |

な支援ができるように日々努めています。

Q4 今の仕事のやりがいを教えてください。

県民の方々から多くのご相談が寄せられます。近年、児童虐待に関わる通告も多く対応しています。児童虐待対応では、子どもを虐待から守るために、子ども、保護者と解決すべき課題について話をします。話し合いを重ねたことで、子どもが過ごしやすい環境が整い相談してよかったと思っただけなのがやりがいとなっています。

Q5 働く環境についてはどう思われますか。

現在の業務は子どもに関する様々な法律を理解していないとできない為、業務の中で分からないことや判断に迷うこともあります。しかし、そんな時は上司や周りの先輩が親身になって話を聞いてくれ、丁寧に教えてくださるので、とても働きやすい環境であると感じています。休暇制度、各種手当、勤務時間の変更等の福利厚生も充実していてとても働きやすい職場です。



中濃子ども相談センター
堀井 豊大
異動歴 H31年 採用 中央子ども相談センター R2年 現所属

福祉

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

子ども相談センター（児童相談所）で、18歳未満の子どもに関する相談に応じ、支援をしています。児童心理司として、心理検査・面接による子どもの見立てやカウンセリング、保護者への心理教育など、心理学的な観点から問題の解決方法を探ります。

Q2 岐阜県庁を志望した動機を教えてください。

学生時代に子どもの居場所づくり事業に携わったことをきっかけに、困難な状況において生きづらさを抱える子ども、家族をどのように支援したら良いか考えるようになり、児童相談所の業務に興味をもちました。また、岐阜県のインターンシップに参加し、実際に働く姿をイメージできたことも良い経験となりました。

Q3 岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

支援の方向性を決定する上で心理学的な観点からの見立てが重視されるため、心理司として意見を発信する機会が多くあり、心理分野の専門知識・技術を最大限に活か

ある日のスケジュール

| | | | | | | | | |
|----------|--------------|-----------|-----------|-------|---------|---------|-------------|-------|
| 8:30 | 9:00 | 9:30 | 11:00 | 12:00 | 13:00 | 14:30 | 16:00 | 17:15 |
| 登庁・メール確認 | 援助方針について所内協議 | 心理検査所見の作成 | 所内で保護者と面接 | 昼休み | 面接記録の作成 | 学校で情報共有 | 市役所で児童の心理検査 | 退庁 |

すことができます。また、児童福祉に限らず、幅広い対人援助分野において経験を積み重ねることができるのも魅力だと思います。

Q4 今の仕事のやりがいを教えてください。

子どもや家族から様々な苦悩や葛藤を聴き、解決に向けてどうしたら良いか一緒に考える過程に大きな意義があると感じます。子どもの状態や家族関係が良い方向に変化し、それが子どもや家族の自信につながったときはとても嬉しい気持ちになり、やりがいを感じられます。

Q5 困難な事例があったときにどうやって解決されましたか。

子どもや家族と向き合う中で思い悩むことは多々ありますが、その都度同じ職場の上司や先輩に相談するようにしています。話し合いながら課題を整理したり、自分一人では思いつかなかった助言をもらったりしながら問題解決を図ることができるので、安心して業務に取り組むことができます。



中濃子ども相談センター
吉本 祐子
異動歴 H31年 採用 東濃子ども相談センター R3年 現所属

心理

Q1 現在の仕事内容を教えてください。

イベントの企画運営や、図書館システムの管理をしています。みなさんが考える司書の仕事とは異なるかもしれませんが、「図書館はこんなに便利に使える場所なんだ」と知ってもらうきっかけをつくる仕事だと思っています。

Q2 岐阜県庁を志望した動機を教えてください。

幼い頃から本に関わる仕事がしたいと考えていました。特に司書に興味があり、資格が取れることを条件に大学を決めました。在籍したのは県外の大学でしたが、地元の岐阜県が採用を行っているを知り迷わず応募しました。夢だった司書の仕事は想像の何倍も奥深く、毎日が新鮮です。

Q3 岐阜県の技術（専門）職員として働く魅力を教えてください。

司書が勤務する場所は県図書館や学校図書館、大学図書館から議会図書室のような専門図書館まで様々です。異なる館種の図書館で勤務することで幅広い視野や知見を

ある日のスケジュール

| | | | | | | | | |
|---------------|----------------|-----------|-------|-----------|---------------|--------|-------|-------|
| 9:00 | 9:30 | 10:00 | 12:00 | 13:00 | 14:00 | 15:30 | 17:00 | 17:45 |
| 登庁、メール確認、書架整理 | 図書館システムのアップデート | イベント広報物作成 | 昼休み | ホームページの更新 | 図書館システム業者との会議 | 図書展示準備 | メール確認 | 退庁 |

得られ、オールラウンダーな司書になれるところが魅力です。

Q4 今の仕事のやりがいを教えてください。

イベント開催などを通じて学びの機会を提供できることや、事業をやり遂げた達成感がやりがいに繋がっています。知識や経験を活かし、利用者が求める情報を提供したり困りごとを解決したりする手助けができるところに司書の仕事の面白さがあります。この経験が、県民のみなさまの課題解決に役立つと考えています。

Q5 働く環境についてはどう思われますか。

県図書館は様々な方が来られるため利用者の方から学ぶことも多いです。また、自分と同じ司書職員と働けるのも特徴のひとつです。業務ごとに係が分かれており、より専門性を高められる職場です。県図書館以外の所属では基本的に1人で図書館を運営するため、仕事をマネジメントする力が身に付きます。一から企画した事業への反応がダイレクトに得られる職場でもあります。



図書館
渡辺 沙羅
異動歴 H27年 採用 図書館 H31年 中津高等学校 R4年 現所属

司書